



2026年4月20日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマザワ
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
(コード番号 9993 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 工藤 和久
(TEL. 023-631-2211)

特別利益の計上及び連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月期連結決算において、下記のとおり特別利益を計上するとともに、2025年4月14日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)の連結業績予想と本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

2025年9月29日の「会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ」および2025年11月5日の「会社分割(簡易吸収分割)の効力発生日変更に関するお知らせ」にて適時開示しました、2026年2月20日を効力発生日とした当社のスーパーマーケット事業の一部である、秋田県で6店舗のスーパーマーケットを展開する、よねや事業、その周辺事業であるフィットネス事業及び不動産事業等を株式会社ナイスの100%子会社である株式会社東北ナイスに会社分割(簡易吸収分割)の方法により承継させる事業分離により、事業分離における移転利益12億41百万円を計上しました。

2. 2026年2月期 連結業績予想と実績の差異(2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 103,000	百万円 450	百万円 500	百万円 70	円 銭 6.49
実績(B)	105,405	1,142	1,231	1,237	115.78
増減額(B-A)	2,405	692	731	1,167	
増減率(%)	2.3	153.8	146.2	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	102,558	△821	△407	△2,617	△242.84

3. 差異の理由

当連結会計年度につきましては主にスーパーマーケット事業において好調に推移したことから、前回の公表予想を上回りました。

売上高につきましては、今年度からスタートしております第4次中期経営計画の重点課題でもあります「早期黒字化と安定収益の確保」を達成するための収益力強化の諸施策に取り組んだ結果、客数、客単価ともに好調に推移し、当初の予想を上回りました。

利益面につきましては、店舗における値下廃棄率の削減や、前年度から電力会社を変更したことによる光熱費の削減、オペレーション改革による生産性の向上等、全社を挙げてコスト削減に取り組んだ結果、営業利益、経常利益ともに当初の予想を上回る結果となりました。

また、「1. 特別利益の計上」のとおり、特別利益を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回る結果となりました。

以上